

いぬの病気

## そこが知りたい!

# 門脈体循環シャント

「門脈」は、腸と肝臓をつなぐ血管で、栄養分や毒素を肝臓に送っています。

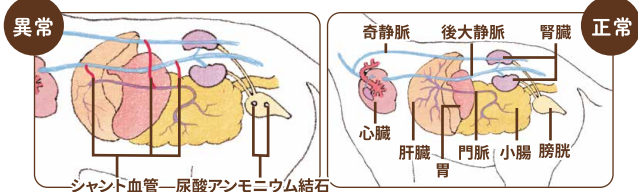


どんな  
病気?

先天的な異常により門脈が全身をめぐる血管とつながっていて、その結果、肝臓が発育不全になったり、毒素が全身に流れて脳・膀胱などにダメージを起こす病気

### 原因と症状

#### <門脈体循環シャントのイメージ>



正常な状態(右)では、腸と肝臓をつなぐ門脈はほかの血管とつながっていませんが、門脈体循環シャント(左)では、**門脈と全身をめぐる血管である静脈とが異常な血管(シャント血管)によってつながっています。**そのため、毒素の一部が全身をめぐるしまい、けいれん発作や一方方向に回る旋回運動などの神経症状が出たり、血尿などのオシッコのトラブル、急性の腎臓病になることがあります。さらに、肝臓への栄養不足により肝機能が低下します。

#### かかりやすい犬種



先天性門脈体循環シャントの発症には、遺伝的な要因がかかわっていると考えられており、**小型犬に多く見られます。**ビション・フリーゼやウェルシュ・コーギー・ペンブロークなども発症が知られています。

### 発見の手がかりの例

#### 血液検査

健康診断や避妊・去勢手術前の血液検査で偶然発見されることがあります。肝臓にかかわるAST、ALTなどの肝酵素、BUN(尿素窒素)、ALB(アルブミン)、NH<sub>3</sub>(アンモニア)、TBA(胆汁酸)といった数値に異常が出ます。

#### オシッコの異常

毒素に含まれるアンモニアが尿酸アンモニウム結晶となり、尿路結石症を起こします。先天性門脈体循環シャントを患う中高齢の犬に多く見られます。血尿や頻尿、失禁、尿の出が悪いなどの症状があらわれます。

#### 神経症状

脳神経が毒素の影響を受け、神経症状が出ます。ダラダラとヨダレが流れ続ける、元気がなくなる、意識が混濁する、けいれん発作が起きる、旋回運動、頭を壁に押しつけるなどの症状が見られます。

**食後に異常が起きやすい!**

ゴハンが消化され、栄養や毒素が血液中に吸収されると症状が出やすくなります。食後1~2時間が要注意。

1年に1回程度の健康診断を受けて異常がないかをチェックしましょう。



犬の現代病は、「いぬのきもち」で、毎月連載中! ●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。



アニコム損保ご契約者がマイページから定期購読を申込むと

**2号無料!!**  
(2ヶ月分)